

海津市まちづくり委員会「第18回ふるさと定住促進検討分科会」会議録

開催年月日 平成23年1月25日(火)
開催場所 海津市役所海津庁舎3階「委員会室」
分科会委員定数 14名
開 会 午後1時30分
閉 会 午後3時30分
出席者 ○分科会委員
岐阜経済大学経済学部教授 池 永 輝 之
公募市民 古 川 義 弘
公募市民 藤 田 繁 己
公募市民 本 多 高 洲
公募市民 柴 田 夕 ヨ 子
公募市民 坂 本 由 貴
公募市民 伊 藤 祥 子
女性人材リスト登録者 石 川 晴 代 子
女性人材リスト登録者 安 部 晶 子

○事務局 企画政策課 課長 中 島 哲 之
係長 後 藤 政 樹
" 主任 毛 利 卓 司

欠 席 者 公募市民 村 上 碩 也
公募市民 加 々 本 紘 一
公募市民 堀 田 義 郎
高須生活学校代表 加 藤 佳 余 子
海津市自治連合会代表 諏 訪 薫

会議次第

1. 開会
2. あいさつ
3. 報告書(案)について
4. その他
5. 閉会

会議録（要約）

事務局	<p>ただいまから海津市まちづくり委員会「ふるさと定住促進検討分科会」第18回目の会議を開催させていただきます。 はじめに会長よりあいさつをお願いします。</p>
会 長	<p>（あいさつ）</p>
事務局	<p>本日は分科会の最終日と言うことで、報告書の確認と修正をさせていただきたいと思えます。前回のご意見を踏まえた修正を行い、分科会開催通知に報告書を同封させていただきましたが、ご覧いただけたものとして進めさせていただきます。その間に、各委員さんからご指摘いただいた事についてはこれから協議していきたいと思えますが、はじめに事務局にて修正した部分についてご報告させていただきます。</p> <p>別紙をご覧いただきたいと思えます。みなさんご存じのことと思えますが、平成22年国勢調査の速報が新聞で出ておりました。これは岐阜県の発表したもので確定の数字ではありません。総務省発表の速報値は2月に出される予定ですが、新しいデータが出ましたので、報告書の「人口減少がおよぼす影響」中の総人口の部分については差し替えをし、説明文も別紙のとおり修正させていただいてもよろしいでしょうか。</p> <p>（異議なし）</p> <p>それでは新しいデータで記載させていただきます。 次に、各委員さんから個別でご意見のあった事について紹介させていただきます。</p> <p>地元企業の情報発信の提案で文中に「他市町の自治体、商工会議所等と連携して」を追加してはどうかというものがありましたので追加し、「市内から通える範囲にある企業情報の基本データ（隣接県も含め）を他市町の自治体、商工会と連携して整備し、海津市のホームページで提供する。」としましたが、ご異議ありませんか。</p>
A委員	<p>「連携」という言葉を使ってみえますが、桑名市とか大垣市とかは海津市と連携する必要はないですね。協力してもらえるわけですか。連携できなかったらやめるのですか。</p>
事務局	<p>人口流出問題は大垣市にとっても関心がある事柄だと考えております。こちらからのアプローチの仕方にもよるかもしれませんが、連携できなかったからやめるということにはならないだろうと思えます。</p> <p>また、例えば企業や事業所のデータベースを作ることになれば、企業側がデータベースに登録してくれないと話にならないので、登録のお願いなどを商工会の窓口や役所の産業担当課に設置してもらったりするなど、何らかの協力を得て実行できると思えます。それすらも協力が得られなければ次の方法を検討していただけたらと思えます。</p>
A委員	<p>連携が前提になっているような感じを受けますが、他市町が乗ってきて始め</p>

	<p>てできるような感じですよ。</p> <p>ここで議論してきた定住化というのは海津市のエゴの話なんです。都市間競争を勝ち抜こうと言う発想ですから。海津市独自の取り組みを考えた場合、連携という言葉が強すぎるような気がします。情報交換とかのほうが良いのではないですか。</p>
B委員	<p>連携は必要なんじゃないですか。色々なところで情報発信をしていかないと、海津市だけでは限度がありますよね。</p>
事務局	<p>この件に関しましては「他市町の自治体、商工会議所等と連携して」という部分は、追記せず、当初のとおりとします。</p> <p>ご意見が割れておりますが、この提案について、家から通える範囲にある企業情報を提供することですので、実際に企業情報のデータベースを運用する場合、当然他市町の商工会等に協力なり求めていく必要があります。手法に関しては実際に業務を行う際に検討しながら進められていくことと思いますので、提案としては情報提供をするということにしておくことでよろしいでしょうか。</p>
C会長	<p>商工会は求人もやってるんですか。</p>
D委員	<p>定かではありませんが、やっていないのではないかと思います。</p>
事務局	<p>商工会に関しては、商工会から求人の情報を得るのではなく、海津市がデータベースを作った後、企業・事業所にデータ登録してもらえば必要が出てくるので、声かけやチラシの設置などをお願いしていくことになるんだろうと思います。</p> <p>また、まちづくり委員会で提案された事に関しては、担当課に進捗状況のヒアリングも行ったり情報交換したりしていますので、市長がこの提案事項を担当課に命じた場合は、この会議で出た諸々のご意見を担当課に伝達できる機会もありますので、この提案に関しては追記なしで進めさせていただきたいと思いますがよろしいでしょうか。</p> <p>(異議なし)</p> <p>続きまして、報告書の中のグラフについてご意見がありました。グラフよりも文章のほうが先行していて、人口減少の現状を伝えるにはインパクトが少ないので、グラフと説明文の順序を変えよというご意見でしたので、レイアウトを変えてみたのですが、グラフが複数あることもあり、図が先行していると非常に読みにくくなってしまいました。したがって、順序は変えませんが、グラフについて出来るだけ大きめに表示させていただくということでご理解願いたいと思いますがよろしいでしょうか。</p> <p>(異議なし)</p> <p>続きまして、農業、商業など海津市内での起業を希望する若者に対する支援と、コミュニティバスの見直し、婚活支援について追加提案のご意見があり</p>

ました。これらに関しましては、類似のものがその他アイデアにありますので、そこへ書き加えるような格好でご理解いただきたいと思います但よろしいでしょうか。

(異議なし)

続きまして、前回の会議の中で出たご意見ですが、報告書4ページ中の「現役世代の人口減少が進行すれば、次のような影響が出てくると考えられます。」という部分で①から⑥まで人口減少により起こりうる事が書いてありますが、この分科会は、まちづくりとして取り組んでいるので行政の台所事情ばかり並べても…といったご意見がありました。このご意見に対して、新しい「影響」を考えるのか、①から⑥の掲載順序を変えるのか、ご協議いただきたいと思います。

C会長 地域コミュニティが崩壊するような旨の事を書いたらどうですか。人口が減れば、消防団員の不足とか、PTAのやり手もいなくなってくるわけですから。

事務局 地域コミュニティの活力の低下、そういった表現でよろしいでしょうか。

E委員 まったく初めてこの報告書を読んだ人からすれば、今出ている6つの影響については素直に受け止められる事だと思います。

A委員 分科会の委員の立場として前回、市の台所事情ではないかと言いましたが、よくよく考えれば、市民にとっても行政サービスの低下、健康保険や介護の事などもありますので、イメージしやすいものだと思いますので、このままでも良いのではないのでしょうか。

事務局 それでは、ただ今の件に関しましては、基本的には原案で行きたいと思いますが、地域コミュニティの話などは⑤に付け加えるなどしたいと思います。以上で、事前にご意見をいただいていた件は、全てお認めをいただけたと解釈させていただきます。

報告書の表現、誤字・脱字など軽微な事については、随時直していきたくと思います。これは事務局に任せていただきたいと思います。今後は、会長さんと池永先生と相談させていただきながら修正作業等を進めていきたいと思いますが、よろしいでしょうか。特段、何もご意見がないようでしたら、これをもちまして報告書完成とさせていただきます但よろしいでしょうか。

(異議なし)

ありがとうございました。

それでは今回を持ちまして海津市まちづくり委員会「ふるさと定住促進検討分科会」を終了とさせていただきます。